

# 第15回全日本ユース(U-15)水球選手権大会－桃太郎カップ－【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター 【2022/12/24】

## この試合のプレー集計

### 準々決勝

三重県選抜

8	3	－	5
	2	－	3
	1	－	5
	2	－	7

20 山口水球クラブ

審判： PSO  
森林 和三  
伊藤 晃二

三重県選抜	13	SH数	28	山口水球クラブ
	1	速攻数	6	
	8	ST・SB	21	
	7	SH・P誘発アシスト	12	
	9%	GK阻止率	11%	
	5	EX反則数	4	

ST・SB：ボール奪取・SH阻止

### 【試合の流れ】

実力的には山口の有利は動かないだろうが、1回戦では動きの少なかった三重がどう戦い方を変えて山口に挑むかが問われる一戦。

#### 【1P】

三重④柴田が先制点をあげてゲームが動き出した。対する山口は⑥神原が左サイドをロングドライブして決めて同点としたが、直後の三重の攻撃で⑦岩本が決めて再び三重リード。その後、山口も③三田が取り返して同点にするといった”取って取られて”のゲーム展開。2:06に山口②吉中が左サイドから豪快に決めて山口ペースになるかと思いきや、再開から三重④柴田が取り返した。そうした膠着状態が続いたが、泳力・シュート力に勝る山口が徐々にギアをあげ、④坂東や②吉中のエンジンがかかって速攻SHを決めて、三重3－5山口で第1ピリオドを終えた。

#### 【2P】

三重⑦岩本のゴール前へのドライブに右サイド⑥水谷からのパスが通り、退水を誘発してそこを⑤磯部が決めて三重が1点差に詰めた。しかし、山口も⑦亀井がやや遠目からの伸びのあるシュートを連続で決めて突き放しにかかった。すべてが速攻やドライブ攻撃では体力消耗やミスも怖く、こうしたミドルレンジからのシュート力ある選手は大きな武器となっていた。山口はこの追加点でペースを落ち着かせ、そのことで余裕をもっての試合運びを展開するようになった。三重はピリオド終了時に、再開から2人がかりでゴールを守った山口DFの頭上を抜くロングシュートを⑦岩本が決めて、三重5－8山口で前半を折り返した。

#### 【3P】

センターボールを取った山口が、先ほどのお返しとばかりに④坂東がロングシュートを決めて再び4点差に広げた。徐々にボール接点での圧力で山口が優勢に立ち、三重は前半のような効果的な攻撃ができない展開が続いた。この世代筆頭の③三田の豪快なシュートなどで着実に加点。三重は完全に受け身となる展開となった。三重6－13山口と一気に差がついた第3ピリオドだった。

#### 【4P】

最終ピリオド、少しペースダウンした山口だが、③三田が決定力の違いを見せて着実に加点。最終的には三重8－20山口と中盤以降に大きく差が開いた試合となった。

三重は1回戦とは違って、よく前へ泳ぐ水球を序盤は展開し、山口と互角に渡り合えたが、中盤以降は地力の差が出てしまった。山口は序盤のGKを含めたDF連携のミスなどの反省点をどこまで改善して、準決勝以上の戦いに臨むか。攻撃力は高いだけに無駄な失点を抑制することも重要な視点だろう。